



腫瘍センター市民公開講座開催

腫瘍センターでは、大腸がんの診断と治療に関する最新の情報を提供し、大腸がんに対する知識啓蒙を図るため、平成23年8月27日(土)札幌市教育文化会館において第1回市民公開講座「大腸がんを知ろう！」を開催しました。

公開講座は第1部として第三内科小林先生による「大腸がんってなに？-知ってほしい大腸がんの知識と見つけ方-」、第一外科高橋先生による「大腸がんの外科治療」、腫瘍センター川本先生による「大腸がんの薬物治療-大腸がんを薬で抑えよう！」と題した3講演と、第2部としてがん看護専門看護師石岡さん、MSW 佐藤さんを加え「大腸がんを知ろう！～治療から日々の生活、医療費の実際」と題したパネルディスカッションの二部形式で行われました。

当日は約230名の参加者で会場が埋め尽くされ、メモを取ったりしながら講演者の話真剣に耳を傾けられていた様子でした。

第2部のパネルディスカッションでは、あらかじめ寄せられていた質問をもとに、担当するパネラーがQ&A方式で回答していきましました。質問は、内視鏡検査のことから手術の適否、抗がん剤の副作用や生活面、治療費や医療費制度まで多岐にわたり、限られた時間の中でできるだけ多くの情報を提供できるよう、パネラーが的確に回答していきましました。終了後も、講演者やスタッフに質問する参加者の姿が見られるほど、盛況裡に終了しました。今年度は、シリーズとして5大がんの中から1～2種の市民公開講座を予定しています。



介護保険制度研修会開催

腫瘍センターがん相談支援室では、がん診療連携拠点病院の活動の一環として、平成23年7月13日(水)に第2ゼミナール室において、「介護保険制度を理解しよう！ケアマネジャーとの連携の実際」を開催しました。対象は院内職員とし、医師・看護師・コメディカルスタッフあわせて約35名が参加しました。

前半は、講師の札幌市在宅福祉サービス協会支援事業係 安部 徹氏(ケアマネジャー)より、札幌市にて配布されているパンフレット『なるほど実になる介護保険』をもとに制度の仕組みやサービス内容、ケアマネジャーへの相談方法等についてわかりやすくご説明いただきました。質疑応答では、病棟看護師や医師から積極的な質問が寄せられた他、ケアマネジャーと医療機関スタッフとの連携がより円りやすくなるための工夫について、講師とフロアとで意見交換がなされました。

後半は、地域医療連携福祉センター小野塚 美香看護師長より、退院支援計画書の記載方法について説明がありました。具体的計画に基づいた退院調整が診療報酬で評価され、益々院内外の他職種間連携の充実化が求められている現状について、参加者と共有することができました。

※退院支援計画書

入院患者が適切な退院先に退院できるよう、医療機関全体として退院困難な要因を有する患者を抽出し、退院調整を行う取り組み。病棟看護師と退院調整担当者が協働で計画書を作成し、当院では退院時(転院を含む)に1回140点が算定可能。



平成23年度緩和ケア研修会開催

腫瘍センターでは、がん診療連携拠点病院の活動の一環として、平成23年6月25日(土)～26日(日)に医学部学友会館フラテ大研修室において、平成23年度北海道大学病院緩和ケア研修会を開催しました。

この研修会はがん診療連携拠点病院機能強化事業として義務づけられており、所定のプログラムを修了すると診療報酬算定の条件となる重要な研修となっているため、多くの参加希望がある中から、院内・院外の医師・歯科医師・コメディカルスタッフあわせて36名が受講しました。

本研修会は講義形式の研修と違い、各セッションにグループディスカッション、ロールプレイ、症例検討などが設定された多彩で非常に能動的なプログラムとなっており、なかでもコミュニケーションロールプレイでは、医師・歯科医師・コメディカルスタッフを組み合わせたグループごとに、医師役・患者役・家族役などの役割分担をしてそれぞれの役を演じ、病気の告知をする医師、それを受ける患者を日常の職業とは違う立場からも演じることで、コミュニケーションスキルの向上と職種間の相互理解を目指すなど、非常に特徴的な研修内容となっています。

すべてのセッション終了後の振り返りでは、医師から「もっとつっこんだ内容の研修が良い」との意見が上がる一方、コメディカルスタッフから「ロールプレイで医師役を演じるのが非常に難しかった」という感想があり、職種間の理解レベルに差がみられた反面、「コメディカルスタッフは医師と違い社会背景を踏まえている」「双方向性で有意義」「多職種での意見交換は大変勉強になる」などの感想が寄せられ、職種間の相互理解と、診療現場へのフィードバックにつながったようでした。

本年度は、これまで北海道内のがん診療連携拠点病院で開催された緩和ケア研修会の修了者を対象としたアドバンスド研修会を11月23日(水)に開催する予定です。



患者サロン「わかばカフェ」OPEN



腫瘍センターでは、本年5月から毎月第2・第4月曜日を基本として、チャイルド・ライフ・スペシャリストの藤井あけみ先生主催のがん患者サロン「わかばカフェ」をオープンしました。

同カフェはピアサポートの一環として、20歳未満のお子さんをお持ちのがん患者さんを対象に、患者さん同士が治療や生活、家族などにかかわる様々な悩みや疑問を

出し合い、同じ立場からの話を聞くことで、少しでも前向きに闘病生活を送れるような「気持ちの拠りどころ」であることを目指しています。

カフェでは、お茶やお菓子をいただきながら、リラックスして会話をいただいています。お子さんを連れて参加される方もいらっやって、和やかな雰囲気となっております。また、参加者の中からお手伝いを買って出られる方もおり、自主性をもったサロンへと前進しつつあります。

これからも、試行錯誤しながら、より良いカフェとなるように運営していきたいと考えています。

研修会・講演会のお知らせ

★腫瘍センターセミナー

10月20日(木) (医学部臨床講義棟第三講堂)
「化学療法の副作用～外来汎用レジメンを中心に～」
「麻薬の管理について」

★腫瘍センター講演会

11月11日(金) (医学部臨床講義棟臨床大講堂)
第2回緩和ケア講演会「いのちとグリーンケア」

★がん診療連携拠点病院研修会

11月23日(水) (医学部フラテ会館大研修室)
「北海道大学病院緩和ケアアドバンスド研修会」
11月24日(木)～25日(金) (症例検討室1・2)
「北海道大学病院腫瘍センター第3回外来がん治療研修会」

ご意見ご感想などはこちらまで・・・
医事課医療支援室地域医療連携係
Email: itiki@jimu.hokudai.ac.jp